



JAひろしま杯争奪 第31回春季東広島少年ソフトボール選手権大会



▲32チームが参加した「春季東広島少年ソフトボール選手権大会」の開会式



▲選手宣誓をする志和スポーツ少年団の蔵田主将

開会式で志和スポーツ少年団の蔵田主将が「思いやりを持ってプレーし、最後の一球まで諦めずに全力でプレーすることを誓います」と選手宣誓をし、JA広島中央地域の大会には、地区外から招待された19チームを含む32チーム約400人が参加しました。

JAとJA共済連広島、東広島少年ソフトボール連盟は3月29日、福富多目的グラウンドでスポーツ少年団を対象にしたJAひろしま杯争奪「春季東広島少年ソフトボール選手権大会」を開きました。スポーツを通じて子どもたちの心と体の育成を図るとともに、次世代や保護者と交流を深め、JAをより広く知ってもらう狙いです。

32チームで熱戦

- 大会成績**
- ◆ **Aゾーン**
 - ◆ 優勝 ウィナーズ福山ソフトボールクラブ
 - ◆ 準優勝 沼田東ファイターズ
 - ◆ 3位 志和スポーツ少年団
 - ◆ **Bゾーン**
 - ◆ 優勝 川口ソフトボールクラブ
 - ◆ 準優勝 古鷹・明徳レッドホークス
 - ◆ 3位 宮原リトル板城スポーツ少年団

渡邊泰成統括長が始球式をしました。AゾーンとBゾーンに分かれて試合をし、予選リーグ戦を勝ち抜いた各ゾーン4チームが決勝トーナメントに進みました。



▲熱戦が繰り広げられた試合



水稲

本田初期管理

5月に入り、田植えも最盛期を迎えるこの時期は、農薬の使用や機械作業が多くなり、慌ただしくなります。農薬を使用する前にはラベルを確認し、誤使用のないように注意してください。

また、近年、機械作業中の事故が増加傾向にあります。危険は身近に潜んでいるものです。まずは安全を第一に、自分自身の体調とも相談しながら作業に取りかかりましょう。

◆活着と田植え後の水管理

田植え後、数日たって苗を引っ張ってみると、引き抜くのに抵抗を感じるようになります。これは、植え付けた苗が新しい根を出しているからで、このことを活着とい

ます。活着には温度が影響しますが、概ね田植え後1週間程度かかります。

活着と水管理は大きく関係しており、活着前と活着後で水管理が異なるので注意しましょう。

活着前の苗は田植え直後ということもあり、今まで暖かなところで育ってきた苗にとつては急激な環境変化となります。まだ寒さに弱いので、活着するまでは**3〜4cmの深水**にします。夜間の冷え込みや強風が心配される場合は、苗が水没しない程度の5〜6cmの深水で管理してください。**活着後は、2〜3cmの浅水**で管理しましょう。

◆赤枯れ症状

5月末〜6月(田植え後2〜3週間)に入り、気温の上昇とともに地温が上がってくると**田のガスわき**(メタン・硫化水素等の発生を誘発し、赤枯れ症状)や**下葉の黄化**や**葉先が褐色に変色するなどの症状**などを引き起こします。赤枯れ症状は稲の生理障害の一つで、施用した窒素が土中の未熟有機物を分解するために酸素が消費され、酸素不足となった時や、有機物分解時に発生するガスによって根が障害を受

けた時に発生しやすくなります。特に冬場、耕起していない圃場ではワラの腐熟が遅れるため注意してください。

◆赤枯れ症状の対策は

水を落としたりガスを抜く**間断灌溉(湛水と落水を数日ごとに繰り返す水管理)**を行い、土中に酸素を供給することで根の活性化を促し、地中深くまで伸長させましょう。根張りの良し悪しは今後の稲の生育や登熟に大きく影響しますので、稲の下葉、葉先等を観察し、早めの対策を行います。

また、「**豊土サングリーン追肥用K化成40号**」の散布も併せて行ってみてください。

◆除草剤散布

雑草は、日光を遮り、養分等を横取りするなど稲の成長を妨げたり、収量や米の品質低下を招く大きな要因となります。

除草剤の効果を安定させるには、やはり**水管理が重要**です。散布時にはしっかりと水をため、**5cm程度の深水**にします。この時、オーバーフローに注意しましょう。**散布後7**

日間は水深**3〜5cm**の状態を維持し、薬剤の河川への流出を防ぎ、処理層を形成させるため落水しないように管理してください。

また、昨年雑草が多発生した水田は、体系処理(初期十一発除草剤)を行い、保水性が悪い圃場には粒剤を使用する等、圃場や雑草の発生状況に応じて使い分けましょう。

◆病害虫防除

生育初中期で問題となる病害虫には、イネミスゾウムシ、イネドクオイムシ、生育期間全体を通じて問題となるいもち病などがあります。曇天が続く、湿度が高い状態が続くと、いもち病が発生しやすくなります。特に日照条件が悪い、冷水が入る、窒素過多といった圃場では発生しやすいので圃場を観察し、病斑を発見したら直ちに防除しましょう。

また、昨年は紋枯れ病が多発傾向にありました。紋枯れ病が発生した圃場には、紋枯れ病に効果がある箱処理剤「スクラム箱粒剤」の使用をお勧めします。

詳しい栽培管理、防除等については、各アグリセンター 営農指導員にご相談ください。

野菜

夏秋ナスの栽培管理

広島中央地域で推奨している「露地夏秋ナス」の定植から初期の栽培管理についてご紹介します。

◆圃場選定

ナスは多量の日照と水が必要とするため、日当たりが良くて簡単に灌水でき、排水の良い圃場を選びましょう。また、ナス科のため、ピーマンやトマトなどを植えた圃場での栽培は控えるようにしましょう。

◆圃場の準備

排水が良く有機質に富んだ圃場は根がしっかりと張るので、新根の発生も良くなります。そのため、完熟堆肥・石灰資材を定植の3週間〜1カ月前に圃場の全面に施用し、耕うんしましょう。定植の1〜2週間前には基肥を施用し、幅1.5〜1.8m、高さ約30cmの畝を立て、地温を高めて土壌の団粒構造を維持するためにマルチを施用します。

◆定植

定植は、晩霜の心配がなくなる5月の連休明け〜中旬を目安に行います。株間は80〜90cmにし、害虫の発生を抑えるために植穴へ粒剤を施用し、混和した後に定植します。

定植の際は、ポットの土と地表面の高さが揃うよう植え付けの深さに注意してください。定植後は仮支柱を立てて苗を支え、午前中に灌水して地温を高めるように管理しましょう。また、夏場の高温対策として白黒マルチやシルバーマルチ等のご使用をお勧めします。

◆定植後の管理

●主枝の整理

【主枝の仕立て方】
1番果直下の脇芽を3〜4本残り、3・4本仕立てを基本とします。これ以下の脇芽は様子を見てかき取るようにしましょう。

●灌水

定植前にあらかじめ植穴を掘って灌水し、地温を高めます。定植直後の多量の灌水は、地温を下げるので水分を確認しながら行います。活着して生長点が立ち上がり、葉に水滴がつくようになれば、灌水を控えるにすることで根が深く張るようになります。

●芽・葉かき

主枝の下から発生する脇芽は15cm程度に成長したらかき取るようにしますが、初期に曇天が続く場合は光合成を促進する目的から、長めに残すようにしましょう。

●摘果

最初に着く1番果は親指程度の

大きさになれば摘果し、樹の負担を軽くして生長を促すようにしましょう。もったいないから1番果を残しがちですが、着果の負担から樹勢の低下を引き起こし、収穫期間の短縮等につながってしまいます。特に近年は猛暑が多く、中期の株づくりが多収への近道になります。

◆生理障害

ナスは比較的育てやすい野菜の一つですが、肥料を与え過ぎると生理障害が発生することがあります。茎が太い、または葉が手のひら以上に大きくて黒い、内側に湾曲している、花の色が極端に濃いなどの症状が現れると肥料が効き過ぎていてサインです。このような状態になると、果実が正常に肥大せず「石ナス」になる原因となるため、土壌診断による適正施肥を行ったり、1〜2番果を長めに残して肥料の効きを分散させる対策が有効となります。樹勢の調整には、「メリット」(液肥)等のりん酸・加里を含む葉面散布も有効です。詳しい使用方法や資材の特徴については最寄りのアグリセンターの営農指導員にお問い合わせください。

◆ナスの樹勢判断

ナスの樹勢判断は、葉や茎の太さ、大きさなど株の状態を確認する方法と、ナスの花の状態を確認する

方法があります。

一般的にナスの栄養生長(体を作る作用)と生殖生長(果実をつける作用)が良い状態にあると、花びらの中の柱頭が雄蕊(おしべ)より長く突き出ている状態「長花柱花」になります。反対に栄養状態が悪いと柱頭が雄蕊に隠れる「短花柱花」となり、果実の品質が落ちるだけでなく、場合によっては落花することがあります。

ポイントは、長花柱花のうち早めに追肥を施し、樹勢を健全に保つことです。

【ナスの栄養診断】

ナスは水稲早生品種の10倍もの肥料を必要とします。写真のように柱頭が葯(やく)より長ければ十分な栄養がある証拠です。良く観察して肥料切れになる前に追肥を施しましょう！



地域の情報をお届け!



広島中央トピックス



農機安全講習会 女性の就農を支援

東広島市農業委員会とJA広島中央農機センターは3月5日、女性を対象にした農業機械の安全講習会を開き、12人が参加しました。

圃場では、JAや農機具メーカーの担当者が指導し、管理機と草刈り機を使った作業を体験。自己点検の方法や注意点、トラブルが起きたときの対処法なども確認しました。

同委員会女性部会の古川みどり部会長は「講習会をきっかけに農業に関心を持ってもらい、産直市へ出荷する仲間を増やしたい」と意気込みます。



▲JA担当者に教わりながら管理機で畑を耕す参加者



安定生産へ 法人とJA意見交換

JAは3月16日、「広島中央地域農事組合法人代表者意見交換会」を東広島市で開き、法人代表者31人とJA役職員22人が参加しました。

JAからは主食用米の需給見通しや価格動向、令和8年産の全国的な生産状況を説明。また、令和8年産の栽培に向け、水管理を含む栽培管理や重要な病害虫対策について説明しました。

法人代表者からは、今後の米価、燃料や生産資材の高騰に対する支援、営農指導員の



▲意見交換する法人代表者とJA役職員

育成強化などの要望がありました。

Information お知らせ

広島中央地域 アグリセンター 休日営業お知らせ

【5月】

土曜日・日曜日・祝祭日に休日営業を実施します。
営業時間は、午前8時30分～午後5時

【6・7月】

土曜日・日曜日・祝祭日は休業します。

肥料や農薬、生活資材をご自宅にお届けすることも可能です。お近くのアグリセンターにご相談ください。

東広島市
園芸センターより

園芸作物ほ場排水等改善支援事業のご紹介

園芸作物のほ場として適した水はけの良い土壌を形成するための資材購入及びその施工に必要な機器の賃借料を補助します。まずは園芸センターにご相談ください。

- 対象者：園芸農業者
- 補助率：補助対象経費の1/2
- 上限額：200万円
- 対象面積：5a以上

【活用事例】

- ・ハウスの周りに暗渠を設置し、碎石を埋める。
- ・ハウスの周りにU字溝を敷設して明渠を設置する。
- ・ほ場に客土（真砂土）を投入し水はけを改善する。

申込・問い合わせ

東広島市園芸センター TEL 082-433-4411



※（注）市が補助金交付決定をする前に、事業着手（資材購入、発注などを含む）があった場合は補助対象になりません。